

○「津嘉山公園遊具等設置工事 要求水準書」

1. 総則・基本方針

本業務は、津嘉山公園の遊具選定および周辺設備の整備において、利用者アンケートから抽出された意見を踏まえて、地域のランドマークとなる魅力的かつ持続可能な公園環境を創出することを目的とする。

【基本方針】

1. アクティブと安心の実現：体をダイナミックに動かせる場と、乳幼児が安全に遊べる場をもうける。
2. 暑さ対策：日中も安全に滞在できる遮光・遮熱環境を整備する。
3. インクルーシブ視点：障がいの有無に関わらず、すべての人が同じ目線で楽しめる空間づくり。

2. 遊具整備に関する性能要望

2.1 大型複合遊具(児童向け)

【要求性能】

公園のランドマークとなるシンボル性を備え、「のぼる・かける・すべる・ぶら下がる」等の多様なアクティブ運動を誘発する構造とすること。

素材の遮熱性：夏期の直射日光下でも、子どもが触れる部位(滑り台の面、手すり等)の表面温度が火傷の原因とならないよう、樹脂製パーツの採用や高遮熱塗装、日よけによる遮光措置を必須とする。

【提案要求事項】

- ・南風原町の地域特性をデザインに昇華させた、独自性のある空間演出の提案。
- ・複数人が同時に滑れる「幅広滑り台」や、高学年でも満足できるアスレチック要素の提案。

2.2 乳幼児向け遊具

【要求性能】

0歳～3歳児が児童(小学生等)との衝突を避け、保護者と安心して過ごせるよう、明確なエリアゾーニング(区画分け)を行うこと。

【提案要求事項】

・ちびっこスライダー、囲い付きの安全な砂場、音や触感を楽しむ感覚遊具の配置案。

2.3 インクルーシブ遊具

【要求性能】

歩行困難な児童や感覚過敏の児童も一緒に遊べる視点を取り入れること。特に、背もたれ・安全ベルト付きブランコ、または車椅子対応遊具を1基以上導入すること。

【提案要求事項】

・障がいの有無に関わらず、子どもたちが自然に視線を合わせてコミュニケーションが取れる遊具レイアウトの提案。

3. 施設・インフラ(設備)に関する性能要望

3.1 暑さ対策(日よけ)

【要求性能】

遊具本体に、遮光ネットやシェード等を用いて、日中の直射日光を緩和する措置を講じること。

【提案要求事項】

・遊具に付属した日よけの提案。

3.2 舗装・照り返し対策

【要求性能】

遊具の足元や落下予測エリアには、転倒時の怪我を最小限に抑え、服が汚れない

「クッション性マット(ゴムチップ舗装等)」を施工すること。

【提案要求事項】

・景観性と遮熱性を両立したカラー舗装、および子どもが自然に遊びだしたくなるような平面デザイン(デザイン舗装)の提案。

4. 維持管理(メンテナンス)に関する性能要望

【要求性能】

南風原町の維持管理予算・労力に配慮し、設置後のメンテナンス(清掃のしやすさ、草刈りのしやすさ、耐久性)が容易な素材・構造を選定すること。

【提案要求事項】

・台風や塩害に対する耐久性スキーム、万が一の器物破損時の部品調達の迅速性など、持続可能な運営管理計画(長期メンテナンス計画)の提案。